

# 50 ものつくり大学

Institute of Technologists

## モノレーシング

MONO Racing

[http://www.iot.ac.jp/manu/project/mono\\_racing/](http://www.iot.ac.jp/manu/project/mono_racing/)

## 第13回大会を終えて…… 実り多き5日間



### 今回の総合結果・部門賞

- 総合28位 ●日本自動車工業会会長賞
- スポーツマンシップ賞

### Profile チーム紹介・今までの活動

私達MONO Racingの特徴は、車両部品の「内製率」が高いということです。9割以上の部品が内製品であり、大学の汎用・NC加工機を使用して製作を行っております。加工については外注した部品はひとつもないところは「ものづくり」を冠する大学の学生として誇らしい部分であると自負しています。

### Team-member チームメンバー

#### 松本 正 (CP)

原 薫 (FA)、三井 実 (FA)  
山本 健太、杉浦 拓也、高木 謙悟、浦野 祥吾、  
長谷川 直樹、宮島 大弥、葛西 大悟、  
金子 晴貴、佐藤 好倫、島本 遼平、西村 智明、  
橋本 拓也、山林 拓馬、高橋 航平、成田 壮一、  
野口 翔平、宮澤 賢吾、宮澤 知孝

## Presentation

### プレゼンテーション

今年度のマシンMF-010は、ドライバーにマシンを操る楽しさを知っていただくことを目標に「旋回性能の向上」「ドライバビリティの向上」「信頼のある安全性」をコンセプトに掲げ、マシンの設計を行なった。ドライバーに楽しさを感じていただくために、車両レイアウトを見直し、軽量化と低重心化、マスの集中化にこだわった設計を進めた。それに従いサスジオメトリーの再設計も行なった。

ドライバビリティの向上としてドライバーの身長に合わせてペダルユニットを前後に移動可能なため、自分が運転しやすい状態に合わせることが可能となっている。また、スロットルボディの改良やステアリングシステムの設計の見直しなどを行ない、ドライバーが思い描く軌道を走るマシンをめざして試行錯誤を重ねた。

最後に、ドライバーが安心してレースに集中できるマシンとして、インパクトアッテネーターの改良を行なうと共に、足まわりの強度の見直しなどを念入りに行なった。

## Participation report

### 参戦レポート

今年度の大会初日のデザイン審査では、審査員の方々から厳しいご指摘を頂く形となってしまいました。

大会2日目はプレゼンテーション審査からのスタートとなり、発表者は緊張した面持ちで会場へと向かいました。プレゼンテーション審査が終わり次第車検を行ないました。1回目で液体漏れを指摘されましたが、すぐに修正し、クイック車検で無事合格することができました。その後のコスト審査でも審査員からは厳しい指摘を受けました。

3日目の動的審査では、アクセルレーション、スキットパッド、オートクロスで大きなトラブルが起きることなく終えることができました。

そして4日目、私達のエンデュランスの走行順は、Bグループの中間となりました。1人目のドライバーが走行中にオレンジボールを出されてしまいましたが、審査員のチェックを受け問題がないと判断されたため、コースに復帰することができました。2人目のドライバーも確実な走りをして、本大会を無事に完走・完遂することができました。

本大会は自分たちの知識が浅いことを感じる大会でした。大会中に得た情報を元に、来年度は完走はもちろん、更に上位をめざしてチーム一丸となって頑張っていきたいです。

最後に、支援して頂いたスポンサーの皆様や大学関係者の皆様、OBの皆様方に心から感謝申し上げます。

## Sponsors スポンサーリスト

ものづくり大学、住友電装、TOYOTAレンタリース彩の国、Quick HANYU、タイヤセレクト吹上、エフ・シー・シー、BIKE STAFF ARIE、岡田モーターズ、for All FACTORY EHARA、STuDio 37、アルテアエンジニアリング、SACLAM、MISUMI、SolidWorks、NTN、HONDA、民宿 遼州一、佐成基金、MONO-Racing OB会

**Team-Movie** <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/50.html>